

西暦 2025 年 7 月 15 日

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

## 記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	産後うつ改善に関連する要因～A 施設におけるエジンバラ産後うつ病質問票を用いた検討～
研究責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 西口 理美 分娩部
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2023 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に大阪母子医療センターで出産された方のうち、産褥 2 週間健診時にエジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) が 9 点以上の方・他院で 2 週間健診と 1 か月健診を受診した褥婦は除外します。
研究期間	研究実施許可後～2026 年 2 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	目的：産褥 2 週間健診と 1 か月健診時に行っている EPDS を使用し、産褥 2 週間健診時の EPDS が高得点であるが、1 か月健診時の EPDS が低下した褥婦の要因を明らかにする。 方法：研究実施許可後、電子カルテのテンプレートから「産褥 2 週間」「産褥 1 か月」より EPDS の点数、対象の年齢、既往歴、妊娠分娩歴、授乳方法 (母乳、混合、ミルク)、児の入院病棟 (母児同室をしているか)、院内保健師面談の有無、産後ケアの利用の有無についてデータ収集し、t 検定を用いて分析する。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	産褥 2 週間健診と 1 か月健診の EPDS、対象の年齢、既往歴、妊娠分娩歴、授乳方法、家族のサポート状況、児の入院病棟 (児と同室しているか) 院内保健師面談の有無、産後ケアの利用の有無 個人を特定しうる情報は匿名化して扱います。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者 (等) が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者 (等) から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間合せ先までご連絡下さい。
照会先および研	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター

究への利用を拒  
否する場合の連  
絡先

電話 0725-56-1220 (代表)  
担当者 分娩部 西口理美